

百

日本の
森・滝・渚
全国協議会 会報

選賛美

2023
vol. 16



横尾の棚田

城原海岸とボンネットバス

タグ付けされた松葉がに

荒砂神社から
浦富海水浴場を眺める

熊井浜

鴨ヶ磯と遊覧船

鳥取県岩美町

令和5年度総会開催地

青い海と白い砂
豊かな自然と温泉のまち

p02 令和5年度総会開催地

「青い海と白い砂 豊かな自然と温泉のまち」

鳥取県岩美町

鳥取県岩美町の見どころを紹介

p06 特集「滝百選」

「滝」の百選地を有する会員から、自慢の滝の紹介とおすすめグルメ情報を集めました。滝が生み出す荘厳な景色と美味しいグルメに心と体がきつと満たされますよ。

- 秋田県由利本荘市
- 秋田県小坂町
- 山形県鶴岡市
- 茨城県大子町
- 群馬県渋川市
- 東京都檜原村
- 富山県立山町
- 石川県白山市
- 長野県南木曾町
- 岐阜県高山市
- 岐阜県下呂市
- 岐阜県養老町
- 三重県名張市
- 三重県熊野市
- 兵庫県養父市
- 兵庫県香美町
- 和歌山県新宮市
- 岡山県真庭市
- 熊本県菊池市
- 大分県九重町
- 大分県玖珠町
- 鹿児島県始良市
- 鹿児島県屋久島町

p31 事業レポート

沖縄県久米島町で開催された令和4年度総会・サミット・現地視察の様子を紹介。

p35 自然敬愛宣言

平成26年度の総会で採択された自然敬愛宣言

p36 会員・役員名簿

日本の森・滝・渚全国協議会の会員名簿及び役員名簿

編集にあたって

日本の森・滝・渚全国協議会2023年会報の編集にあたりまして、寄稿等のご協力をいただきました会員各位に厚くお礼申し上げます。本会報は、会員相互の情報交換や百選地を活用した地域づくり等に広くご活用いただければ幸いです。今後ともよろしくご協力申し上げます。



日本の森・滝・渚全国協議会のホームページを、スマートフォンで閲覧できるように更新しました。ホームページでは全国の百選地情報を発信中です。

森・滝・渚の各百選地を紹介
(概要・アクセス・周辺ガイドなど)



地域別に百選地を検索



会報のバックナンバーも掲載



URL <https://mori-taki-nagisa.jp/> もしくは「森滝渚」で検索。



西脇海岸

目が覚めるような美しさから「寝覚めの佳境」とも



千貫松島

菜種五島

名前の由来は鳥取藩主池田公が「この岩つきの松をわが庭に移した者には禄千貫を与える」と言った逸話から

元々一つの岬だったものが、長い年月を経て5つの離れ岩となった

日本の渚・百選「浦富海岸」は、東は兵庫県との県境、西は鳥取市福部町と接する東西およそ15kmの日本海に面したリアス海岸の総称です。永年、日本海の荒波と風雪によって浸食された断崖絶壁、洞門、洞窟、奇岩のなかに、白砂青松の渚が点在しています。そのエメラルドグリーンの海は最高透明度25mとも言われており、シーカヤックやクリアカヤック、シュノーケル、ダイビングなどのマリンスポーツが盛んです。また夏には海水浴

日本の渚・百選 浦富海岸

また岩美町から車で10分ほど西へ走ると、鳥取県を代表する名所「鳥取砂丘」が広がっており、岩美町からもその姿をくっきりと見ることができ

ます。岩美町は、鳥取県の東端に位置する人口約11,000人の自然豊かな町です。町域面積は122.32km²で、町の中央を中国山地の扇ノ山を源流とする蒲生川が日本海へ流れています。町内全域がユネスコ世界ジオパークに認定されている「山陰海岸ジオパーク」の一部であり、日本列島が大陸の一部であった時代からの歴史を今に伝えるジオスポットが町の至るところに点在しています。なお海岸部は山陰海岸国立公園の一部でもあります。



令和5年度
総会
開催地

鳥取県岩美町

青い海と白い砂
豊かな自然と温泉のまち

岩美町

鳥取県

兵庫県

岡山県



松葉がに

冬の味覚の王者。漁期は11月上旬から3月まで



モサエビ

地元でしか食べられない
幻のエビ。
旬は3月～5月



うにちゃん

ユニークな見た目と
愛称が話題に

日本海の恵み

岩美町グルメの筆頭として挙げられるのは、冬の味覚の王者「松葉がに」です。松葉がにとはズワイガニのオスの地方名であり、岩美町は松葉がに漁獲量日本一を誇ります。かにすき、焼きがになど様々な味わい方がありますが、産地だからこそ食べられるかにしゃぶ、かにの刺身は、ぜひ召し上がってほしい一品です。またズワイガニのメスは「親がに」と呼ばれ、卵をたっぷり抱えた親がにを使ったかに汁は岩美町の冬の食卓になくならないものです。

岩美町の冬の味覚はかにだけではありません。ちよつとグロテスクな深海魚「タナカゲンゲ」は、見た目からは想像もできない淡白で上品な味わいです。地元ではお婆さんに似た容貌から「お婆ちゃん」の愛称で親しまれ（諸説あり）、そのユニークさから注目が集まっています。唐揚げや鍋料理など、幅広い食べ方が楽しめます。

そして、是非とも岩美町で味わっていただきたいイチョシグルメが「モサエビ」です。全国的にはあまり有名でないモサエビですが、それには理由があります。モサエビは足が早く、古くなるとすぐに黒ずんでし

まうため、地元でしか味わうことのできない「幻のエビ」なのです。その身はトロツとしており甘みが強く、焼いても、蒸しても、刺身でもおいしくいただけます。これらに併せ、白イカ、夏輝（岩ガキ）、赤がれい、新雪（梨）、マコモタケの8つの食材を総称して「いわみ八宝」と呼んでいます。いわみ八宝を使ったグルメは、岩美町の旅館、民宿、お食事処で味わうことができます。

※この記事は、会報vol.13の再掲載となります。鳥取県岩美町は、令和2年度総会開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため延期となったものです。



クリア
カヤック
体験

洞門をくぐり抜けるなど、冒険気分を味わうことができる

場が開設され、県内外から観光客が訪れ海水浴を楽しみます。昭和の文豪 島崎藤村は、浦富海岸を訪れた際に美しい海岸風景の代表的存在として日本三景の松島を挙げたうえで、「松島は松島、浦富は浦富である」と絶賛しました。

さらに近年では、美しい海とのどかな漁村風景が人気アニメのロケ参考地とされ、聖地巡礼と称して多くのアニメファンが岩美町を訪れています。

1200年の歴史を刻む温泉

浦富海岸から約5kmの山間に、ひっそりと佇む温泉街があります。1200年の歴史を誇る山陰最古級の温泉、岩井温泉です。柔らかく肌を包み込むお湯は神経痛、リュウマチ、皮膚病などに良いとされています。真正正銘「ほんもの」の源泉かけ流しで、のどかな中に旅籠情緒が漂う古き良き日本の温泉です。



岩井温泉

1200年の歴史を誇る名湯

岩井温泉には、江戸時代から伝わる「湯かむり」という入浴法があります。頭に手拭いをのせ、柄杓でポカポカ湯を叩きながら汲み込んで頭にかむるこの奇習は、少しでも長く湯につかり温泉の効能にあやかりうとして始まったともいわれています。この時調子を取るために唄われる「湯かむり唄」は、ユーモラスな歌詞の数え唄で「岩井八景づくし」「忠臣蔵づくし」などいくつ種類があり、長いものでは百番まであるといわれています。